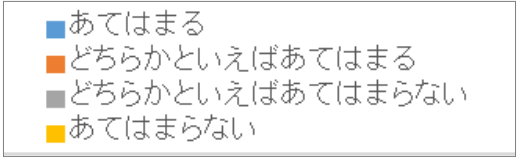


学校教育評価 令和 3 年度2学期アンケート結果、及び 今年度7月との比較

アンケート実施：令和 3 年 12 月（数字は％）
調査人数：全校人（低学年 115/119 人・高学年 115/127 人）
保護者アンケート児童数配布 回答数 186 人（家庭数戸 174）
教職員 16 人

評価：A（あてはまる）
B（どちらかといえばあてはまる）
C（どちらかといえばあてはまらない）
D（あてはまらない）

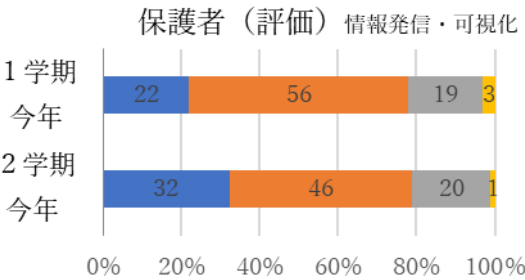
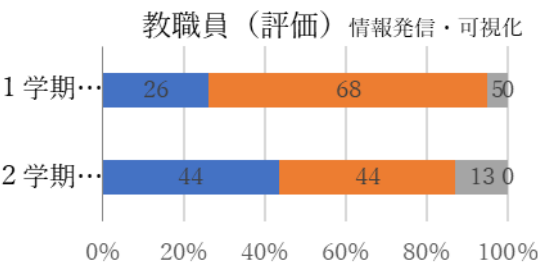


【開かれた学校づくり】

・学校生活や学習状況等について、積極的に情報発信し、教育活動の可視化を図る。

教職員（問 1）学校からの家庭や地域への情報発信はよくできている。
保護者（問 1）ホームページやメールなどにより、学校の様子がよくわかる。

			A	B	C	D		達成 状況	
教職員	A : A+B が 9 0 %以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 %以上	問 1	44	44	13	0	B	B
保護者	A : A+B が 9 0 %以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 %以上	問 1	32	46	20	1	B	



【記述欄】

- ・1 年生だけはおたよりがあるので、学校での様子がよくわかります。忙しい中いつもありがとうございます。（他、4 年、6 年いますが、メールでは全然伝わらないです。）
- ・授業の進捗具合や学力の伸びが他の学校に比べて中央小はおそいと感じ、第一子をもつ親としては不安、心配です。家庭学習でもやる限りのことはやりたいと思いますが、子供も学校の宿題だけで精一杯のようですが・・・不安です。
- ・ホームページ楽しみに拝見していました。たくさん更新していただき学校での様子がよく分かりました。ありがとうございます。
- ・校外学習にバスに乗って行く時など、前日でもよいのでメールがほしかったです。バスに酔いやすいので薬の準備がいました。
- ・校外学習に行く時などメールでもいいので知らせてほしかったです。酔い止めなど薬の準備が間にあいませんでした。
- ・子供が学校からの連絡物、プリントを出し忘れることが多いので、もう少し学校行事の詳細を HP にのせるか都度メールをもらえるとありがたいです。
- ・HP は開かないと見る事はないし、メールは最低レベルでしか来ていないと思う...
- ・学年通信がなくなり、ホームページを楽しみにしていましたが、ほぼ更新されず残念。教科担任制良い部分もあるかと思いますが、途中で先生が変わったりと子どもが戸惑っている気もします。

【記述欄】

- ・細かい成長を褒め、一緒に成長を喜んでくださる担任の先生に感謝の一言です。何かと大変な学年なのに、一人一人きちんと見てくださって、お会いした際、お電話の際、折に触れて学校での頑張り、良くなった点、もう少し見守りたい点を教えていただけて、大変嬉しく思っています。ありがとうございます。おかげ様で娘の自己評価がだいぶ上がってきているように感じます。
- ・クラスや学年全体のよいことや頑張っていることだけでなく、課題点などについても伝えていただいたことで、家庭での子どもとのかかわりについても振り返ることができました。学校と家庭が思いや考えを共有しながら、子どもたちの育ちに関わっていくことは大切だなと思いました。毎日楽しく学校生活が送れていること、ありがたいです。
- ・嫌がることなく毎日元気に登校していて嬉しく思っています。担任の先生のことも好きなようで、学校生活も楽しんでいるようです。学校でのこともよく話してくれるようになりました。

【分析・今後の対応】

情報発信に関してはA（あてはまる）が教職員、保護者ともに1学期より伸びがみられた。メール、HPの更新も概ねできている。本校のHPは毎月1万件ほどの閲覧ページ数となり、多くの人が学校や子ども達の様子を見られていることが分かる。しかし、情報発信の手段はメールやHPだけではない。内容や発信する手段、タイミングについてはより良い方法を今後も模索をしていく必要がある。保護者とのつながりを切らさぬよう、教職員も意識をし続けていかなければならない。

2学期は感染状況も考慮しながら運動会や音楽会、マラソン記録会に加え、10月に人権参観日など、保護者に子どもたちの姿や本校の教育活動を見てもらう機会を設けることができた。今後も開かれた学校に向けて状況を判断しながら続けていきたい。

【生活指導】

- ・家庭、地域、学校どこでも自分から進んで挨拶できる子どもを育てる。
- ・感染について正しく理解し、感染予防に努める子どもを育てる。

〈自律について〉

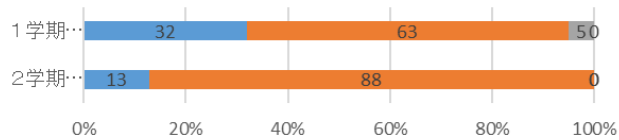
教職員 （問2）児童が判断したり、決めたりする機会を増やしている。

保護者 （問2）家庭で自分からやろうとすることが増えてきた。

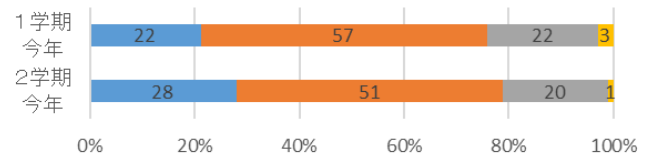
児童 （問1）自分で考えて行動している。

			A	B	C	D		達成 状況	
教職員	A : A+B が 9 0 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 6 0 % 以上	問 2	13	88	0	0	A	A
保護者	A : A+B が 9 0 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 6 0 % 以上	問 2	28	51	20	1	A	
児童	A : A+B が 9 0 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 6 0 % 以上	問 1	43	46	9	3	B	

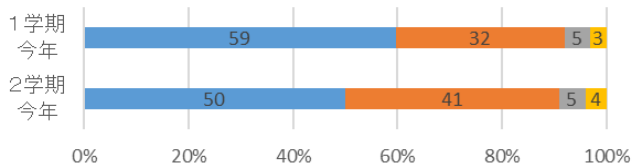
教職員（評価）選択・判断の機会の充実



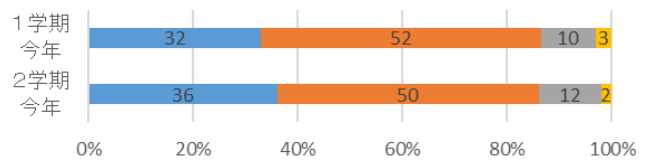
保護者（評価）自分からやろうとすることが増えた



低学年（評価）自分で考えて行動



高学年（評価）自分で考えて行動



【記述欄】

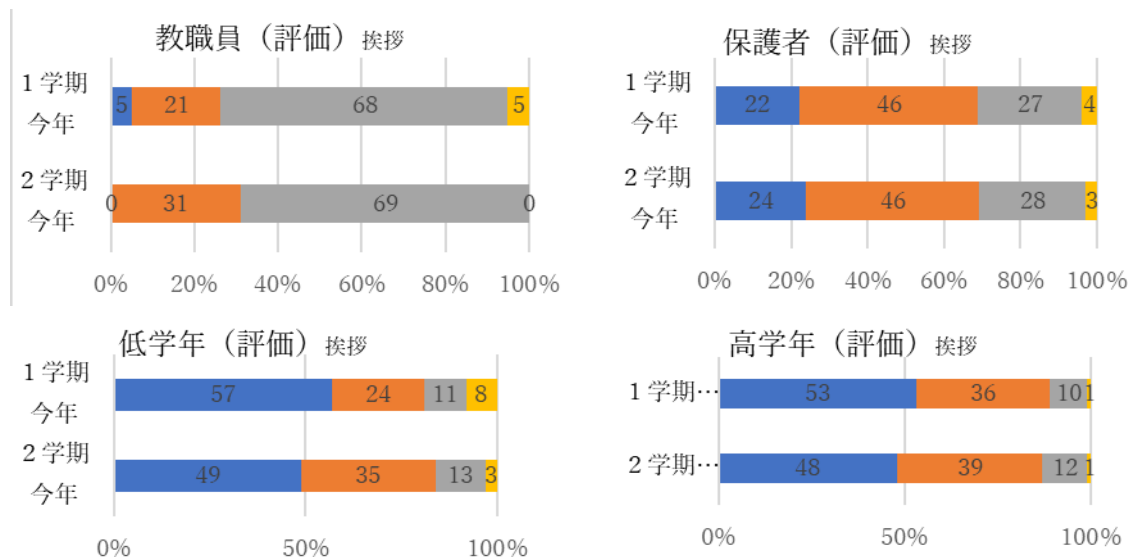
【分析・今後の対応】

教職員は、児童の自律心を高めるために、自己選択や自己決定をする機会をこれまでよりも、積極的に取り入れようとした。児童のアンケートからは、自分で考えて行動していると考えている児童は、低学年、高学年はともに昨年度と同程度で高い数値であり、自律した活動が定着しているように思われる。また、保護者の結果から、児童が家庭や地域において自分で考えて行動する姿が増えてきているという肯定的な意見を持たれている実態が数値から見られ、自律に向けた指導が一定の効果を上げていると考えられる。引き続き、児童が自発的に考え、行動する機会や場を設けるとともに、児童に肯定的な声かけをすることで、自分たちの成長を感じさせるとともに、家庭に本校の教育活動についての理解を求めながら連携し、児童が自律に向かう指導を進めていく必要がある。

〈挨拶について〉

- 教職員**（問3）子どもたちは、学校で挨拶をしている。
- 保護者**（問3）お子さんは、家でも、学校でも、地域でも、よく挨拶をしている。
- 児童**（問2）家でも学校でも地域でも、自分から進んであいさつをしている。

			A	B	C	D		達成状況
教職員	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが60%以上	問3	0	31	69	0	C
保護者	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが60%以上	問3	24	46	28	3	B
児童	A：A+Bが90%以上 C：上記以外	B：A+Bが60%以上	問2	48	37	13	2	B



【記述欄】

- ・家でも声をかけているのですが、恥ずかしいのか、自分から挨拶やお礼の言葉が出ないことが多いのが気になります。親も意識して挨拶している姿を見せるようにしているのですが・・・
- ・全生徒に共通してですが、地域であいさつ出来ている子が少ないと思います。校外で「こんにちは」とこちらから言っても返ってこない事が多いです。反面、中にはとても気持ちの良いあいさつをしてくれる子もいるので朝から元気を分けてもらえた気がしてうれしいです。
- ・朝、登校している姿を見ていると、うちの子も含め地域の人にあいさつがなかなかできない子が多いなと感じます。うちの子どもにはあいさつするようにと言っていますが、今は知らない人にはあいさつしないようにと指導されているのか知りたいです。
- ・朝の立ち当番の時、あいさつをする子が少なすぎます。学年に関わらずあいさつできている子は毎回同じ子のみです。もっと元気にあいさつができる中央っ子を目指してほしいと思います。
- ・マスクのせいコロナのせい、交通当番で立っていて、ほとんどの子があいさつしてくれません。こっちからあいさつして、何とかあいさつしてくれる子が1～2割で、自分から元気に大きなあいさつできる子がなくなりました。無視する子が多くて、悲しくて残念です。自分の子にも毎日「あいさつ大きな声でしてね。」と言ってますが。どうしたらいいのでしょうかねえ。

【分析・今後の対応】

教職員、保護者、児童のどの結果を見ても、1学期と同水準の結果となった。教職員と児童の数値から、どういうあいさつがよいあいさつなのかという意識のずれが見られる。また、保護者のアンケート記述欄からも、児童が地域でもあいさつができていない実態が見られる。これは、コロナ禍が続き、声を出すような指導や機会が減っていることも関係していると考えられる。昨年度から「自分から」「目をつないで」「いつでも」をキーワードに指導を進めているが、今後さらにどういう姿が望ましいのか、あいさつをする目的などを児童に伝えていく指導を進めていくとともに、児童会や委員会を活用して、学校全体であいさつが活性化する取組を考えていきたい。また、PTAの挨拶運動と連携し、保護者にもあいさつについての啓発を行っていきたい。

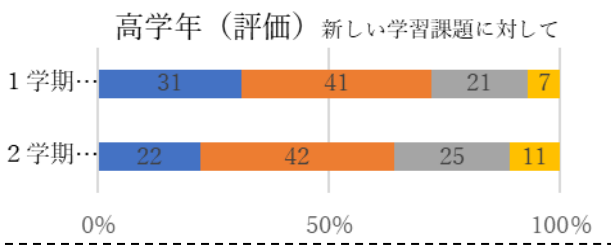
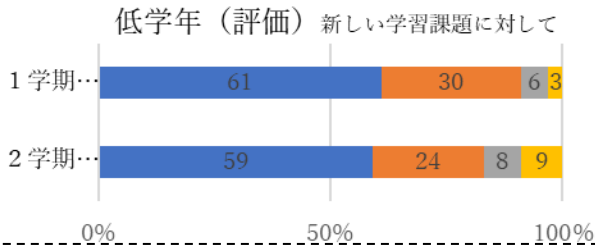
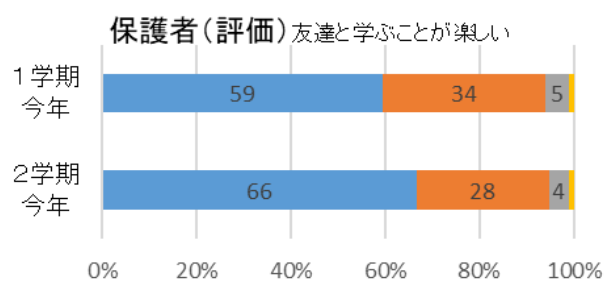
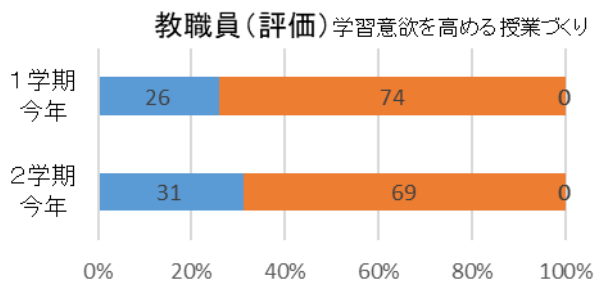
【学習指導】

- ・聴き合い、対話し、学び合う学びを通して、「わかった」「できた」と一人ひとりが実感し、学び続けようとする意欲を育てる。
- ・協働的な学びを通して、一人ひとりのよさや個性を認め合い、共に学び合う集団づくりに努める。

〈学ぶ意欲について〉

- 教職員
- (項目 4) 学習意欲を高める授業づくりに努めている。
- 保護者
- (項目 4) お子さんは、友だちと学ぶことを楽しんでいる。
- 児童
- (項目 3) 新しい課題、学習に取り組む時は楽しみだ。

			A	B	C	D		達成 状況	
教職員	A : A+B が 9 0 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 % 以上	問 4	31	69	0	0	A	A
保護者	A : A+B が 9 0 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 % 以上	問 4	66	28	4	1	A	
児童	A : A+B が 9 0 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 % 以上	問 3	40	33	17	10	B	



【記述欄】

【分析・今後の対応】

教職員については、学習意欲を高める授業づくりを意識して取り組みを続けている。しかし、児童のアンケート結果を見ると、学習に意欲を持ちづらい児童が全体の2割～3割おり、そのような子どもたちを前向きに学習に参加できるようにするための手立てを考えていかなければならない。特に高学年については学習内容が難しくなることもあってか、学習意欲を持ちづらい児童が目立つ。引き続き、児童の学び合いを大切にした授業づくりの研修を進めるとともに、新しい学習との出会い方の工夫や、児童の疑問からの課題設定をするなど、児童が「学びたい」と主体的に活動できる授業へと更に転換を進めることで、自ら学習に取り組む児童の育成を目指していきたい

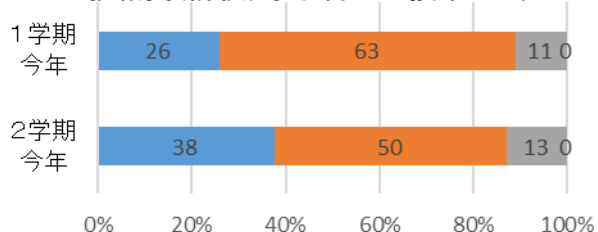
〈分かった・できたの実感について〉

教職員（項目 5）友だちの意見を聞いたり、考えを広げたりと、学び合いの授業づくりをしている。

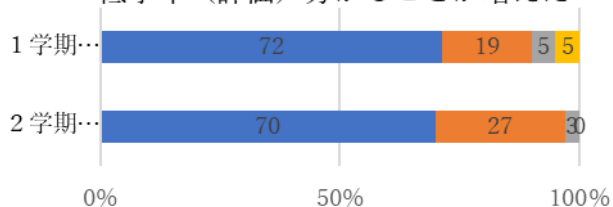
児童（項目 4）勉強をしていて、少しでも分かることやできることがふえてきた。

			A	B	C	D		達成 状況
教職員	A : A+B が 90 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 70 % 以上	問 5	38	50	13	0	B
児童	A : A+B が 90 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 70 % 以上	問 4	67	27	5	1	A

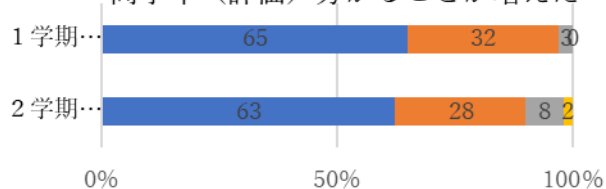
教職員（評価）学び合いの授業づくり



低学年（評価）分かることが増えた



高学年（評価）分かることが増えた



【記述欄】

【分析・今後の対応】

「勉強をしていて、少しでも分かることやできることが増えてきた」と答えた児童は、評価A＋評価Bで95%以上あり、1学期アンケートに引き続き多かった。感染防止対策を取りながら、学び合いの場面を取り入れた授業づくりを続けてきたことが児童の理解につながっている。特に低学年においては、新たにわかるようになったことやできるようになったことを肯定的に捉えることができている。しかし高学年においては学習内容の難化に伴い、「難しい」という感覚が先行している傾向にある。児童が粘り強く考える姿勢を評価し、解決できた際に達成感を感じることができる経験を多く積ませていきたい。

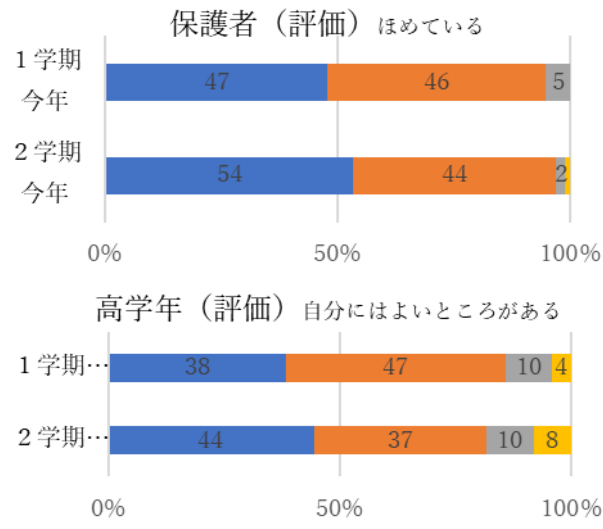
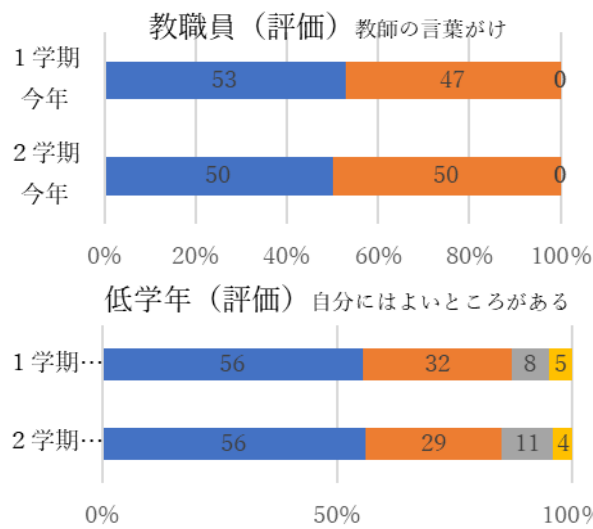
【人権教育】

- ・学校・家庭生活における指導を通して、互いに人権を尊重し合い、自尊感情を育むように努める。
- ・児童への心のケアを通して、感染症の影響によるいじめ・差別・偏見等の啓発に努める。

〈自尊感情について〉

- 教職員
- (項目 6) 子どもの伸びを認める言葉かけの質の向上に努めている。
- 保護者
- (項目 5) お子さんのがんばりやよいところをほめている。
- 児童
- (項目 5) 自分にはよいところがある。

			A	B	C	D		達成 状況	
教職員	A : A+B が 9 5 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 % 以上	問 6	50	50	0	0	A	A
保護者	A : A+B が 9 5 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 % 以上	問 5	54	44	2	1	A	
児童	A : A+B が 9 5 % 以上 C : 上記以外	B : A+B が 7 0 % 以上	問 5	50	33	11	6	B	



【記述欄】

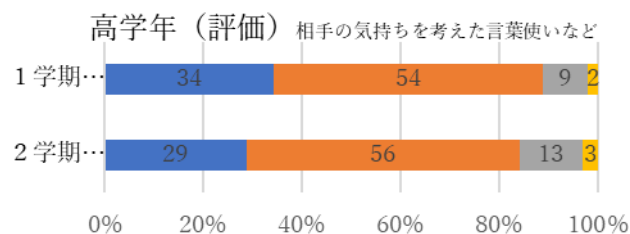
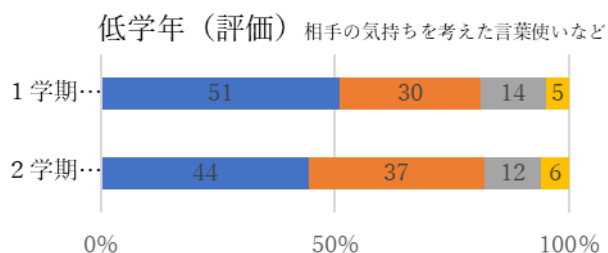
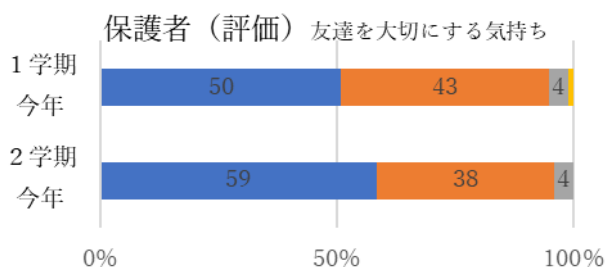
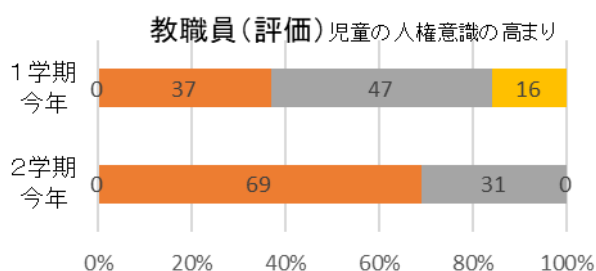
【分析・今後の対応】

教職員、保護者ともに、子どもの伸びを認める言葉かけの質の向上に努めたり、がんばりやよいところを褒めたりする意識が高く、A 評価になっている。2 学期は、運動会、音楽会、マラソン記録会等の行事はもとより、活躍の場が数多くあり、子ども達の伸びを認める声かけを行うことができた。また、子ども達は、「みていたよ」カードに友だちの良い行動を記入し、子ども達どうして良いところを認め合う活動も自主的に行っていた。その結果、70%以上の子どもが「自分にはよいところがある」と肯定的にとらえている。しかし、15～18%ほどの児童は、評価が低く、人数が1 学期と2 学期とほぼ同じことから、個人が固定化されている可能性も考えられる。また、高学年の児童の評価が下がっているのは、周りを見て人と比べたり、自分に厳しく評価したりしているためではないかとも考えられる。子ども達の行動と、内面の傾向を探っていき、今後も一人ひとりの小さな伸びやできていることを細かく評価し、子ども自身が、自分の良さを認識できるようにしていきたい。

〈人権意識について〉

- 教職員** (項目 7) 児童の人権感覚や人権意識が育ってきている。
保護者 (項目 6) お子さんは、友だちを大切にする気持ちが育ってきている。
児童 (項目 6) 相手の気持ちを考えた行動、声かけ、言葉づかいができています。

			A	B	C	D		達成 状況
教職員	A : A+B が 95%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 7	0	69	31	0	C
保護者	A : A+B が 95%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 6	59	38	4	0	A
児童	A : A+B が 95%以上 C : 上記以外	B : A+B が 70%以上	問 6	37	47	13	4	B



【記述欄】

- ・友だちとケンカした日は元気がなく、仲直りするといつも通り元気になります。見守りたいです。

【分析・今後の対応】

教職員の指標はCではあるが、1学期に比べると2学期は、「児童の人権感覚や人権意識が育っている」と肯定的な評価が増えている。1学期は低学年の児童の中に、友だちに暴力をふるったり、言葉で相手を傷つけたりする児童がいたが、じっくり話を聞いて児童の思いに寄り添うことを続けていくうちに、徐々に落ち着き、暴力や暴言が減っていった。高学年は、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の評価が増えている。高学年になると、相手の気持ちを考えた行動、声かけ、言葉づかいについて、自分の行動の振り返りができ、自己評価をした結果ではないかと考えられる。

2学期に取り組んだ生活科・人権総合学習では、中央地区のすばらしさや地域の方の頑張りを学習し、人権を大切にする心を育んできた。さらに、地域の人や差別解消に立ち向かった人の生き方を学び、今までの自分を見つめ直し、自分がこれからどう行動していくのか考えを深めていった。今後、自分が頑張ろうと決めたことを、後押しできるような支援をしたり、声かけをしたりして自信につなげていきたい。また、今日的な課題でもある感染症の影響によるいじめ・偏見に対する啓発を繰り返し行い、安心安全な学級づくり学校づくりに努めていきたい。

【複数学年複数担任制】

【記述欄】

- ・複数担任制のメリットが不明です。子どもにとっても先生によってやる気を出したりやる気をなくしてしまったり、デメリットの方が大きいです。親にとってもどの先生に相談したらよいのか、懇談もどの先生にしてもらったらよいのか悩みます。
- ・子供の心の変化、不安ごと HR 担任が気付いてもらえる環境なのか？心配です。
- ・複数担任制は良いのか悪いのかよく分かりませんが、主要教科に対してはきちんと教えて頂ける先生について頂ける方がいいと思います。
- ・子どもは楽しく学校へ通っています。友だちも大好きですが、複数担任制については、良いと思ったことはありません。月毎に HR 担任の先生がかわっていますが、授業も教科担任制なので、子どもと深く関わることもあまりないように感じます。個人懇談でもあたりさわりのない内容です。昨年までの担任の先生との話の内容のようなことが全く話せません。とてもとても残念です。
- ・複数担任制、やめてほしいです。メリットが全くわかりません。子供も親もどうしたらいいかわからないです。
- ・HR 担任は1年通して同じがいい。
- ・複数担任制で教えてもらっている教科の時間しか子どもの事を見れていないのかな？と思っていましたが、懇談の時に普段の生活面についてやその子のいい所やもう少し頑張ったらいいい所を的確にアドバイスして下さりいろんな所でよく見て下さっているんだなと思いました。ありがたいことです。中学校や高校のようにホームルーム担任だけ固定されても良いのかなと思います。
- ・複数学年は、中学校生活みたいで今後の役に立つのかなあとと思いますが、複数担任は個別懇談の時にも感じたのですが、どの先生に話せばいいのかわからない事と、聞いた事に HR 担任に確認します！で話が合わなかったりするので、担任の先生は1年間固定していただけるとありがたいです。教科担任制の1年固定担任の方がいいと思いました。
- ・友だちに恵まれ毎日楽しく通っていますが、上の子の時のような6年生の担任の先生との関りができていないように思います。子ども達が落ち着いてまとまっているように思うのですが、そこでさらに先生が雰囲気や更にレベルアップできるような声かけをしていただき、1人担任の時はクラスの雰囲気をもっと勢いがあつたように思います。1ヶ月毎にHR担任の先生がかわり、そういうことは難しくなっているのでしょうか？個人懇談でとても良いアドバイスをいただけてありがたく思いましたが、残りの学校生活でその先生との関りがどれくらいかを考えると、残念です。後、先生が変わり、授業がわかりにくいと言っています。他の子からもその声をききます。よろしくお願いします。
- ・複数の先生が子どもを見てくださっていることで、「〇〇先生ほめてくれた。」「△△先生は言ってくれた。」など嬉しそうに話をしてくれます。大勢の先生が見てくださっていることで安心しています。ありがとうございます。勉強は以前と比べて自分でしようとする姿が見られるようになってきました。
- ・複数担任制になってから保護者も色々な先生と話す機会が増え、子供のことを多方面から見てもらえている所が良いと思います。
- ・複数の先生に関わっていただくことにより、先生方が長い目で子どもたちの成長を見守って下さっているように感じます。6名の担任の先生方が、子どもたち一人ひとりの課題や育ちについてどんなふうに共有されているのか、知りたいです。コロナの状況も少し落ち着いてきている中、音楽の授業での歌や校外学習の機会などを増やしていただけたら嬉しいです。今しか経験できないことをたくさん経験してほしいです。

【分析・今後の対応】

学級担任制、複数担任を取り入れた教科担任制とではメリットとデメリットが双方にあるが、複数担任制においては児童に関する情報共有は特に重要であると認識している。毎週の高学年担任会議だけでなく、日々の中で児童に関する話し合いが導入以前と比べて増えるなど、一人一人をより多くの教員で支援できる体制になっており、メリットは大きいと考える。しかしながら、個別懇談会などでは、一人の担任と話をすることしかできないため、多様な視点、価値観で見守っているメリットを保護者が感じられにくかったのではないかと考える。今後も引き続き情報共有に取り組むとともに、個別懇談会ではいろいろな担任と面談してもらうよう働きかけていく。

11月に中学1年生、6年生を対象にしたアンケート調査では、この担任制について肯定的にとらえている感想がほとんどであり、多くの児童がメリットを感じていた（本校ホームページ12月21日付「校長室から」に詳細掲載）。しかし、保護者に理解してもらっていない部分があり、引き続きホームページを通じて発信していくとともに、PTA総会や学区懇談会等を活用して、保護者に説明する機会を設ける必要がある。さらに、複数担任制において、子どもとの関わり方をどのように深めていくかを再度検討していく必要がある。

【その他】

【記述欄】

- ・いつもお世話になりありがとうございます。
- ・いつも子供に寄り添って頂きありがとうございます。
- ・子供のことをよくみてくださり感謝しています。
- ・自分の世界があるタイプで、同学年で話が合う子がなかなかいないようで、一人でタブレットや本を見ていることが多いようです。ただ、本人はそれを気にしていないので、今後どんな風にいろんなタイプの友達を作ってくのか見守りつつ、親としてどんな支援ができるのかを模索しています。新しい発見や担任の先生との話が楽しみなようで、学校には喜んで通ってくれています。いつもありがとうございます。